

# 平成25年度第2回移動市長室会議録

(平成25年 5月20日)

1 日 時：平成25年 5月20日（月）、13時30分～15時10分

2 場 所：東新町公民館

3 出席者：

## 『東新町区』

林田区長、東新町シニアサロン会員・ボランティアスタッフ（35人）

## 『筑紫野市』

藤田市長、飯笹総務部長、北橋市民生活部長、森総務課長、濱崎総務担当係長、  
鶴崎生活福祉課長補佐、宗貞戦略企画課長、檜木秘書広報課長、日野広報広聴担当係  
長、松隈秘書広報課主任

4 内容：団体の現状と課題などについての懇談

○（事務局） 東新町シニアサロンの皆さん、こんにちは。

本日は、大変お忙しいなかお時間をいただき、ありがとうございます。

ただいまから平成25年度第2回移動市長室を始めさせていただきます。司会を務めます榎木と申します。よろしくお願いいたします。

移動市長室は、市内のいろいろな団体、グループの方とより深い懇談を行いまして、ここで出ました意見や要望を、今後の市政に生かしていこうとするものでございまして、今回で通算22回目の開催となるところでございます。

平成25年度から、特徴あるまちづくりを行っていらっしゃる地域のほうにもお伺いすることになりまして、まずは東新町区にお邪魔をさせていただいた次第でございます。

林田区長、それからスタッフ、会員の皆様には、本日のためにいろいろと準備をしていただき、本当にありがとうございます。

本日の移動市長室は、お手元の次第のとおりに進めさせていただきます。この後、市長の挨拶、林田区長の御挨拶、皆様方の自己紹介。懇談、そして最後に「これから音頭」、「ぼけない小唄」の合唱の順で、締めくくりをさせていただきたいと思っております。終了予定時刻をおおむね午後3時とさせていただきます。

本日の懇談内容は会議録をつくりまして、公表をさせていただきます。また、お撮りしました写真は市の広報紙やホームページに掲載をさせていただきます。

有意義な懇談会となりますよう、どうぞ最後までよろしくお願いいたします。

では、まず初めに藤田市長が皆様方に御挨拶を申し上げます。

○（藤田市長） 皆さん、こんにちは。筑紫野市長の藤田陽三でございます。

きょうは、今年度になりまして2回目の移動市長室でございます。通算で22回ということになりましたけれども、本年度は、先ほどお話もありましたとおり、特色のある取り組みなどを行っている地域の方々のお話をお伺いさせていただきます。最初に東新町区、林田区長さんのところの東新町シニアサロンの皆さん方と懇談をさせていただくことになりましたこと、大変うれしく思って感謝をいたしているところでございます。

本日は、林田区長さん初め、サロンのボランティアスタッフや会員の皆さんと、活動されての思いや課題などをしっかりお聞きしながら、市政の運営に役に立てさせてもらいたい、また、取り入れさせていただきたい、このように思っているところでございます。最後までよろしくお願いいたします。挨拶とかえさせていただきます。どうぞ皆さんよろしくお願いいたします。

○（事務局） 続きまして、林田区長、どうぞよろしくお願いいたします。

○（林田区長） 皆さん、こんにちは。市長さんからお話がありましたように、移動市長室を開催したいという話が、区長会に連絡がありましたので、まずは東新町区で受けることにしました。東新町シニアサロンの水田さんをお願いして、市の職員さんと打ち合わせしながら準備をしていただきました。

皆さん方は、自己紹介などを一人一人言ってほしいと言われても、市長さんの前ではなかなか言えるものではないとのことでしたが、そこを何とか、きょうは、市長さんと間近に接する機会ですのでよろしくお願いいたします。

東新町区のこの公民館はことしの10月で崩します。今、隣のほうに、新しい公民館を建てるようにしております。今の公民館も手狭になり、人数が多いといっぱいいっぱいなんですよね。だからもうちょっと広くした公民館にして、敬老会などをしても全員がスムーズに入られるような場所にしたいというのが目的です。そして、消費税も上がりますし、いろいろな面から見て今が一番いいんじゃないかと。市のほうからも、議会で承認を得て、助成をしていただけることになりました。

区の皆さん、きょうは市長とお話ができるので、何でもいいですから言ってください。市長も、敬老会や総会などいろいろ来ていただいており、親近感があっていつでも話せるような市長さんですので、きょうはもうざっくばらんに、別に言うことが間違ってもかまいません。間違ったときは、「ああ、すいません、間違えました」って言うぐらい、和気あいあいの中で、懇談が進みますようお願いいたしまして、区長としての挨拶とさせていただきます。きょうはよろしくお願いいたします。

○（事務局） どうもありがとうございました。

続きまして、出席者の自己紹介を行いたいと思います。私、秘書広報課の榎木と申します。本日、司会進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○（飯笹総務部長） 4月より総務部長を務めております飯笹でございます。3月までは、健康福祉部におりました。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

○（北橋市民生活部長） 市民生活部長をしております北橋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今、市ではコミュニティー構想の取り組みを、それこそ林田区長さんにたくさん助けていただきながら進めております。各行政区で行われる特色ある取り組み、そういうものを見させていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

○（事務局） あと、秘書広報課、総務課、戦略企画課、生活福祉課から、皆さん方のお話を伺いに職員がまいております。どうぞよろしく願いいたします。以上が行政側でした。

続きまして、東新町シニアサロンの皆様、お願いいたします。

○（水田代表） 東新町シニアサロン代表の水田です。

移動市長室のお話があったときに、簡単にお受けしたんです。皆さんと藤田市長を囲んで懇談をして身近に感じていただきたい、ただ希望を出していただきたいぐらいの気持ちです。ですが、準備などが大変で（笑声） 会員の皆さんも緊張され、私たちスタッフも本当に緊張しているのが現実です。だけど、この時間を意義のあるもの、そして前向きに建設的な意見を出したいと思います。楽しいサロンをわかっていただきたいと思っておりますので、皆さんも御協力、よろしく願いいたします。

○（会員） 矢野と申します。どうぞよろしく願いいたします。

○（会員） 笠島です。よろしく願いします。

○（会員） 山内です。どうぞよろしく願いします。

○（会員） 末安と申します。

○（会員） 秋吉でございます。よろしく願いします。

○（会員） 長野でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○（会員） 近藤です。よろしく願いします。

○（会員） 松本です。よろしく願いします。

○（会員） 宮崎です。

○（会員） 行徳でございます。

○（会員） 野田です。よろしく願いします。

○（会員） 藤井でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○（会員） 箱田でございます。このシニアサロンは、最初、シニア健康クラブとして立ち上げまして、その後、水田さんが福祉委員となられました後、水田さんに代表を引き継いでいただきまして、こんなに盛大になりましたので、本当に喜んでおります。

○（会員） 萩尾です。よろしく願いいたします。

○（会員） 川良です。よろしく願いします。

○（会員） 今石と申します。

○（会員） 酒井です。よろしく願いします。

○(会員) 野中と申します。よろしく申し上げます。

○(会員) 末安です。よろしく申し上げます。

○(会員) 熊本と申します。どうぞよろしく申し上げます。

くしくもきょうは、筑紫野市長杯グラウンドゴルフ大会があっており、市長さんに早朝からおいでいただいて、挨拶もいただき、ありがとうございました。9人、東新町のほうから参加していますけども、移動市長室に参加するため、私は結果は聞かないで帰ってきました。おそらく3名か4名ぐらいいは入賞してるんじゃないかと思っています。

○(会員) 島田でございます。お世話になります。

○(会員) 神代です。1月28日に筑紫南コミセンで高年クラブとされた移動市長室にも参加しました。よろしく申し上げます。

○(会員) よろしく申し上げます。神代です。

○(会員) 林田でございます。よろしく申し上げます。

○(会員) 坂口です。どうぞよろしく申し上げます。

○(会員) 黒木です。よろしく申し上げます。

○(ボランティアスタッフ) 野口と申します。きょうはお手伝いにまいりました。よろしくお願ひいたします。

○(ボランティアスタッフ) ボランティアをさせていただいております平山です。よろしくお願ひいたします。

○(ボランティアスタッフ) ボランティアスタッフの高巢と申します。今の形にサロンがなって10年、ずっと会計をさせていただいております。よろしくお願ひいたします。

○(ボランティアスタッフ) 福祉委員の高田と申します。よろしくお願ひいたします。

○(ボランティアスタッフ) ボランティアの猿渡です。後2年でサロンのメンバーになります。(笑声)

○(ボランティアスタッフ) 民生委員をやっています中尾です。よろしくお願ひいたします。

○(ボランティアスタッフ) ボランティアをさせていただいております三戸です。よろしくお願ひいたします。

○(事務局) どうもありがとうございました。

それでは、ただいまから懇談の中身に入ってまいりたいと思います。まず、水田代表から、東新町シニアサロンの活動内容につきまして、よろしくお願ひいたします。

○(水田代表) 恐れ入ります。資料をごらんください。3ページから、順に従って進めて

まいります。広げてもらってよろしいでしょうか。

4ページが、シニアサロンの年間予定表です。そして、5ページ、6ページに、私たちがいつもやっているサロン活動風景の写真が掲載されております。

7ページにシニアサロンの会則を書いております。8ページに平成24年度のサロンの会計報告と、出席者の数を記載しております。

9、10ページに、最後に歌う、いつものテーマソングの歌詞を書いております。

そして、11ページ目が歴代の東新町区長の名簿です。

それと、12ページに六地蔵の紹介をしています。これは後で、おうちのほうでゆっくり読んでください。

では、戻りまして、3ページ目をごらんください。

私たちの東新町シニアサロンは、12年ほど前に社会福祉協議会の指導のもとに始めました。テレビや新聞で独居老人の孤独死が頻繁に取りあげられている時期でした。それで、一人暮らしの高齢者を地区でも見守れる体制とか、あと独居じゃなくても、家族がお勤めに行かれて昼間独居となるような方も見守ることができないかということで、林田区長を初め、役員の方々に相談し、社会福祉協議会の方にもお話を伺いました。

そして、実際に始めたのが、平成15年の8月からでした。先ほど説明されました箱田さんが、自宅で四、五人集めて平成13年から健康クラブをなさっていましたので、それを公民館で開催することになりました。

回覧板でチラシを回覧して会員を募集しました。そのときの最初の人数は16名でした。これはボランティアスタッフと会員合わせてです。16名から始まりました。

そして、10年続きましたので、去年の10月に社会福祉協議会から表彰を受けることができました。

現在の会員数は、スタッフ合わせて48名いらっしゃいます。私たちはスタッフもみんな仲間としてやっていますので、みんな、できることは自分でしようということで動いています。サロンの活動時間は午後1時から午後3時を予定していますが、開始15分前ぐらいには、男性陣が準備を手伝ってくれます。なお、私たちのサロンは男性が多いんですよ。社協に伺いますと、市内では五十数カ所のサロンが開催されており、その中で一番男性の割合が多いサロンは、この東新町です。

そんな皆さんが、快く椅子を出していただいたり、きょうもなんですが、さあっとできることをされます。皆さんの力で、本当に負担なく催すことができているのが、このサロ

ンの特徴です。

開催日を、毎月1回、第3月曜日の午後1時から午後3時にしております。4ページに年間計画がありますが、このような形になったのが、もう10年前からです。最初の頃は、健康講話が多かったです。病院の先生などをお願いして、無料で講演いただいたりしていました。

そのうちに、3、4年前から、市のほうからもいろいろ出前講座とか、あと高齢者支援課にも協力していただきまして介護予防の教室や栄養教室のお話をいただくようになりましたので、それを組み込んで、いろいろなメニューを年間計画として立てております。

あと、警察や消防署も無料で来ていただけますので、そういうところからも来てもらっております。

それと、あとお楽しみは、年度末の、3月のバスハイクです。これは、社会福祉協議会のバスを借りてバスハイクに行きます。最初は、近くの湯町のほうに御飯を食べに行っていました。そしたら、運転手さんが「どうせ1日借りるならちょっと遠くに行かれたらどうですか」と言われたので、その次の年は、日田まで、サッポロビール工場などに行きました。その後は、キューピーマヨネーズ工場や、諸富町の味の素工場、鳥栖工業団地の大塚製菓であたたかいカロリーメイトを食べてきたり、去年は、それこそあたたかいひよ子を食べてきました。近場のたばこ産業やヤクルト工場には歩いて行きました。それと、勉強会としては、福岡の防災センターや九州セキスイハイムで、耐震などの勉強をしてきました。

そのようにして、勉強を兼ねた3月のバスハイクにしております。本当に参加者が多いです。

サロンの年間計画を見ていただきますとわかりますように、9月には敬老会出演のための合唱練習を予定していますが、敬老会の対象者は110名ぐらいいらっしゃって、そのうち60名ぐらいが参加されます。その参加者の大半が、このサロンのメンバーです。

おいしい御飯を食べて、みんな和気あいあいと敬老会を楽しみ、このテーマソングであります「これから音頭」と「ぼけない小唄」をみんなで合唱します。それで、その練習を、前の月の9月にこのサロンで練習しています。ことしは9月9日にする予定です。

12月の予定が正月の飾り物ということで、サロンの会員の酒井さんに、もう88歳になるんですけど、先生をしてもらって、ここに置いてある鶴亀とかを作っています。最初は、ミニの松竹梅の鉢を、門松をつくっていただいて、指導していただき、5、6年行い

ました。そのときは男性陣が、もう前々日とか、1週間前から、竹を切ったり、ペーパーをかけてもらったり、材料集めをしたり、すごく大変でしたが、みんな快く手伝ってくださいまして、皆さんの分が手元にくるように、ミニ門松をつくっておりました。

作るものもだんだん変わってきて、そこに置いてあります布草履とか、羽子板の羽をつくってみたり、去年は万華鏡をつくりました。

そのように、12月はイベントをしております。おうちのほうに飾っていただける物をつくっております。

わざわざ講師を呼ばなくても、東新町には、踊りの先生がいらっしゃる、民謡の先生がいらっしゃる、手の器用なおじいちゃんもいらっしゃるという形で、本当に指導員がいらっしゃるんですよ。宝庫なんです。それを探し出すのも楽しいです。

このようにして1年間が過ぎます。

そして、4月に年間の皆勤賞の表彰式を開いています。ことしは、5名いらっしゃいました。お花と表彰状を渡して皆勤をお祝いしています。

皆勤賞を喜んでもらって、賞状を額に入れてますというような話を聞いたら、本当にうれしいですし、また、お元気であることで、「何回もらったよ」っておっしゃってくださる方もいらっしゃいます。

それと、この中でも結構90歳以上の方がいらっしゃいます。80歳以上の方もたくさんいらっしゃいます。会則をつくりました際に、慶弔規約をどうしますって話をしていましたけれども、まだ、この10年間におひとりだけです。それは、皆さんが元気にされているということですし、本当すばらしいことだと思います。残念ながら亡くなられた方は、96歳でして、おとし亡くなられたときは、私たちもここで黙祷しました。ですが、10年間でお一人だけだったことは、本当うれしいことと思います。それが私の誇りです。

以上です。

○（事務局） どうもありがとうございました。

続きまして、サロンに対する感想を、会員の方からお話をいただけるということでございますので、お願いしたいと思います。

○（会員） 私どものシニアサロンは、箱田さんが先ほど言われたけども、当初はシニア健康クラブということで始まりました。何でもスタートというのは、大変御苦労が多かったと思いますけど、箱田さんや、バトンタッチされた水田さんのおかげで、年々会員もふえて、このように盛大になっています。社協からお見えになっていろいろなゲームとか、先



ほど行った手遊びとかをしていただき、そういうことで脳を使うから、ぼけないでこの年までできてるんじゃないかなというふうに思ってます。

水田さんが言われた他の地区に比べて、男性の会員数が多いってことに、ちょっとびっくりしたんですけども、考えようによっては、それだけ東新町の男性は女性を好いている、それだけ関心があるのかなというふうに思っています。（笑声）

これからも水田さんを中心にして、ますますシニアサロンが発展することを願って、私のシニアサロンの感想として申し上げたいと思います。

以上です。

○（会員） 笠島です。3年前に宮田町からこちらにまいりました。私、宮田町でもサロンでかかわっており、今もかかわってまして、ことしは15周年なんですけども、私はここに来たからには、こちらで根を張って皆さんに仲良くしていただくこうっていう思いで水田さんのところに行きました。

参加するには条件があるんですかって聞いたら、65歳以上でここに住んでいればどなたでもいいんですよって教えていただいて、じゃあもう70だからばっちりねと言いながら、仲間に入れていただきました。そのおかげで、皆さんとこうして集まって、顔見知りになりましたから、道やスーパーで会っても、会釈できますよね。シニアサロンに入っていなかったらそれもできなかったと思います。

スタッフの皆さんがしっかり準備してくださって、私たちはそれに乗っかるだけで、楽しい思いを2時間して帰るんですよ。これからも、スタッフの方、御苦労と思いますけど、よろしく願います。

私は、ここのサロンは男性が多くて、とつてもすばらしいと思っています。（笑声）  
宮田町は、男性は1人か2人なんですよ、必ず見える方が。宮田町のサロンに行ったとき言うんですよ、東新町のサロンはいいよって。男性がたくさんいらっしゃってね。（笑声）  
そこそこにいいところがありますけれども、私は東新町のサロンに入れていただいて、仲間に入れていただいたことに、ものすごく感謝しています。これからもよろしく願います。

○（事務局） どうもありがとうございました。

今、水田代表のほうから活動内容について、丁寧にお話をさせていただきました。そして会員の方から、サロンに参加しての感想を述べていただきました。

それで、もう少しですね、サロンに対しての楽しみ、こういったことを目的に参加して

いるというようなところを、教えていただきたいと思います。

○（水田代表） 島田さん、いかがですか。お願いします。

○（会員） 島田でございます。とにかくいらっしゃる皆さん、全員元気で、もう和気あいあい、笑いの絶え間がない。きょうは市長がいらっしゃっていますので静かにしてはおりますが、もうそれじゃなかったら本当、にぎやかです。（笑声）

○（水田代表） 野田さんはどうですか。サロンに来ての感想があったらお願いします。

○（会員） 月に1回、皆さんとね、お会いできて。ちょっと顔が見えなかったら、きょうは来ないんじゃないだろうかといった、そういう心配をしてしまうくらいです。

皆さん元気でお見えになりますから、なによりです。

○（事務局） ありがとうございます。皆さん、楽しい感想ばかりでございます。

続きまして、スタッフの方にも少しお尋ねしてもよろしいでしょうか。

月に1回、いろんな行事予定を組んでありますが、工夫なさってあるところや、御苦労なさっている点があれば、ぜひお聞かせください。

○（ボランティアスタッフ） 会計として、月々皆さんから100円の会費をいただいて、あと社協からも助成金をいただきますけど、少ない予算でやりくりしています。必ずお茶会がありますので、おやつを準備するのが大変です。おいしくて高いものを買えるような状況ではないので、少しでも安いところや、割引しているところを探して買ってきます。そうやって苦労して買ってきたものをおいしいって食べてくれるので、やったかいがあったなど、感じながら働かせていただいています。

あとは、私はよそからこちらに来て20年になりますけれど、みんなさんから声をかけていただいて、このサロンに来るようになりました。おかげさまで、近所の皆さんとも顔見知りになって、こんにちはとも言えますし、今回見えてませんでしたね大丈夫でしたかとか、そういう声かけができるので、このサロンがなかったらよそ者のままで、この町内に混ざらなかったと思います。

だから、大変なことはいろいろありましたけれど、それはそれなりに、かかわってきてよかったな、少しでも皆様のお役に立てたならと思います。参加させてもらい、感謝しております。

○（事務局） ありがとうございます。

続けてまたスタッフの方にお尋ねいたします。これまでの行事の中で、盛り上がった行事や、好評だった行事などがあったと思いますが、そういったところをお聞かせください。

○（水田代表） 今のような形で行事を、もう七、八年は安定した形で取り組んでいます、マンネリ化にならないように心がけています。いつ来ても同じようなことばかりだと楽しみも半減しますので。このように会員の数がいぶ増えていますので、楽しんでいただいているのだなというのわかります。他のサロンの話を聞きますと、やはり、だんだん人数が減って尻すぼみになっていくサロンもあるそうです。

ここに来ての2時間を楽しく過ごしてもらうために、勉強会のときでもおもしろいことを勉強してもらわなくてはってということで、健康講話では、事前に皆さんから、インフルエンザがはやっています、花粉症で困ってます、ひざが痛い、腰が痛い、目が痛いとか、そういうことをお聞きして、それに対してお話をしてくださいと講師の方に頼んでいます。皆さんにも少しでも、このまま健康で来ていただいて、勉強や体操をしてもらおうと、いつも気にかけています。それと、気功を勉強したりもしています。ちょっと新しいものに取り組んでいくってことを、少し考えてやっております。それが、少し苦勞と言え苦勞ですけど、楽しみでもあります。スタッフのほうでいろいろ考えてやっております。

○（事務局） ありがとうございます。

今、目の前に、手づくりの品物を置いていただいておりますが、よかったら御説明をお願いします。

○（水田代表） これは、酒井さんと一緒につくりました。88歳です。本当、手が器用で、布草履が5、6年前にはやりました話をしたら、「俺つくりきる」っておっしゃって、材料をそろえて作りました。スタッフも練習しましたが、やはりかないません。本当に上手です。そして、このようなわらじを皆で作りました。

それと、こちらのわら細工の鶴亀はもう、これはなかなかできる物じゃありません。10月ごろから一生懸命作っていただいて、皆さんにプレゼントしてもらいました。本当、これは私たち練習してもできるもんじゃありません、この鶴亀はですね、ちゃんとしたものをつくられてます。本当もう、酒井さんにはがんばっていただきました。

それと、向こうの棒は新聞にテープをまいてつくった物ですけども、この健康棒を使ってストレッチや体操を行います。1人でももちろん、2人で組んで使うこともできます。2人だとゲームをしたりして遊ぶこともできますので、サロンのイベントとしてつくり、楽しんだりしました。

○（事務局） ありがとうございます。

それでは、次に進んでまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

次は、市への要望についてお話をいただけるということでございますので、中尾さんのほうから、御要望のお話をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○（ボランティアスタッフ） サロンのスタッフの要望といたしまして、毎年バスハイクに行っているんですが、社協から借りている福祉バスの定員が25人のため、会員全員が乗ることができません。バスハイクに全員は参加しませんが、それでもやっぱり30人ぐらいにはなるので、会員の方やスタッフが、自分の車を出して行っているのが現状です。

だけど、やっぱりみんなで1台のバスで行ったほうが楽しいだろうと思いますし、年に1回のバスハイクですので、ものすごい楽しみにしてらっしゃいますので、できたら会員の方全部にお声をかけて、参加してもらいたいというのが私たちの希望です。

私たちの要望としては、社協のバスを大型化していただくとか、もしそれが不可能であれば、市のバスをサロンの行事でも使用できればありがたいと思います。よろしくお願いいたします。

○（事務局） ありがとうございます。

藤田市長のほうから御回答させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○（藤田市長） 年一回のバスハイクを皆さんがとても楽しみにしていらっしゃる。でも、そのバスに全員が乗ることができない。全員が乗れるように、バスを大型化したり、市のバスを利用できるようにしてほしいという、切実な要望です。

市のバスに関してですが、市有車両管理規則というのがあり、庁用マイクロバス運行管理規程の中で、「公務のため」「市の機関が必要とする場合」に利用できると決められていまして、なかなかそれを、サロン活動などで使うことができません。また、社協のバスですが、購入して6年程度であり、まだ買い換えの予定はないそうです。そこで、市から社協に確認したところ、新たにワンボックスタイプの8人乗り車両の貸し出しができるとの回答をいただいています。

ただ、こんなに喜んで福祉バスを使っておられるということは、やっぱり来ないとわかりませんね。いいお話を聞かせてもらいました。本当ありがとうございます。

○（事務局） せっかくの機会でございますので、そのほかに何かございましたらお話しください。

○（会員） 市の広報紙が月に2回発行されてますね。いろいろな情報を、私、楽しみに待って読ませていただいておりますけども、とじ方ですね。普通、文章は左をとじるように

なってると思うんですよ。市の広報紙は右に穴があいてますね。左とじのほうファイルにとじる場合いいと思いますので、左とじにならないか、ちょっと検討をお願いしたいと思います。

○（秘書広報課） 秘書広報課の広報広聴担当の日野と申します。

今、御指摘がございました、広報紙のとじ方でございますけれども、広報紙は縦書きで記載をさせていただいているため右とじになります。

子供さんの教科書でも、縦書きの国語の教科書ですと右側に開くように、どうしてもとじるのが右側のほうになります。雑誌などでも、縦書きは右とじ、逆に横書きの雑誌ですと左とじになっております。広報紙は縦書きで掲載させていただいておりますので、右とじで、右側に穴をあけて作っております。

○（事務局） どうもありがとうございます。

続きまして、そちら側、お手が挙がっておりましたですね。

○（会員） 近所に猫がいます、1匹2匹ならよろしいんですけど何匹もいて、ふん等の被害も出ており近所の方からも苦情が出ています。

○（事務局） 野良猫でございますか。

○（会員） 猫好きの方が餌をやっているようで、それで居ついているようです。

○（北橋市民生活部長） 以前、環境課に少しおりましたので、お答えします。猫に迷惑しているという意見は、市役所にもたくさん寄せられています。一方で、猫というのは、法律によって愛護動物に指定されており、虐待防止のため、むやみに傷つけたり、捕獲したりしたらいけないようになってるんですね。犬と違いまして、犬は狂犬病の関係があるから、ちゃんと首輪をつけて鎖とかでつながねばいけません、猫は放し飼いで、規制がないんですよ。

市のほうでも、非常にどうするか苦慮してるんです。担当としては県の保健所の管轄になりますが、市民の方からそういう御意見や相談がたくさんありますから、市でもどのような対策ができるのか検討しているところです。

まずは、飼い猫の分については、やっぱり飼い主の方が、責任を持ってきちっと飼っていただかないといけません。

そして、野良猫については、むやみに餌を与えない。猫は繁殖力が強いので、どんどん繁殖するんですよ。また、今、地域猫活動といって、地域の中で猫のいろいろな対策をしている活動があります。環境面とか、ふんの始末だとか、去勢避妊手術とか、そういうこ

とに少しずつみんなの力を出しながらお金も集めて、猫が地域の中で一緒に生活できるような活動も、全国に広がっています。

市としても啓発など、できることは一緒にしていきたいと思いますので、どうぞ、地域の皆さんも、大変苦情あると思いますが、地域の中でも協力いただきながら、そして、どうしてもできないときは環境課あたりにお電話いただくと、少しでも知恵を出して相談に乗ることができると思います。

これは非常に難しい、なかなか決め手がない問題なんですけど、よろしくをお願いします。

○（事務局） 回答のほうが長くなりまして、すいません（笑声）

せっかくの機会ですので、ほかに何かここで出しておきたいことはございますか。

○（会員） 私、4年ほど前に転入した者ですけれども、こちらへ来まして非常に周りの環境がよろしいのと、皆さんなかなか人柄のいい方が多いんですよ。それで、私は非常にいいところへ引っ越して来たなと思っていたんです。

ただ、市役所は、いろんな手続きなどをしに行くのに非常に不便なところにあるし、何だか手狭な庁舎だなんて思っておりました。

それで、つい去年あたりに、森永乳業ですかね、あそこが更地になってますよね。ああ、こういう広い場所ができたんだから、ここへ市役所が来てくれないかなあと思っておりますが、そういうことは市ではお考えになっていらっしゃるのでしょうか。

あの場所だったら、皆さん、納得いくと思います、広いですから。今の市役所みたいに道路を渡って駐車場と行き来するようなことにはならないだろうし、分散している建物を一つにまとめることにより、便利のよい庁舎になると思っています。

○（藤田市長） 一昨年に市庁舎について市民アンケートをとったところ、建て直してほしいという方が7割いらっしゃいました。ですから、多くの市民は、今の御意見を述べられたような方と同じお気持ちだと思います。

さて、先日、森永乳業さんが市内にあった工場を引き払われました。その工場の跡地については、民間企業同士で売買を進めようと言われていたんですが、公用地の拡大の推進に関する法律がありまして、要するに広い土地を売買するときは、民間企業同士で交渉する前に、まず公共団体に要るか要らないか、それを相談しなさいという法律です。それがあったために、市のほうに話がきましたので買い取らせていただいた、というのがあの土地なんですけど、実は、これは筑紫野市土地開発公社というところが買っています。市の関連機関なんですけど、そこが買っており、あの土地は5年間は運動施設と避難場所という形で

運用することになっています。その後のことはまだ決まっていないため、今の御要望は地域のご意見として参考にさせていただきます。

○（事務局） ほかに何かございませんか。

○（ボランティアスタッフ） これは、きょうはお休みされているんですけど、会員さんからの要望なんです。東新町の交差点のところに、3カ所横断歩道ありますけど、JA側からうどん屋へ向かう位置の1カ所は横断歩道がありませんので、あそこにも横断歩道をつけていただきたいという要望です。

お年寄りの方などが、ちゃんとした横断歩道を通らずに、横断歩道がないところを渡っていらっしゃる方が結構多いんですよ。でも、あそこを通らずに回ってたら、時間がかかりますし、待つのに時間もかかって、特にお年寄りは待つのが大変だと思います。

また、昼間は明るいからそこを通っている人がいても、ドライバーの方はその歩行者が見えますが、夜暗くなるとわかりづらい。

私自身の体験なんですけど、冬場暗いときに車で右折しているとき、スピードは出ていませんでしたが、主人が急ブレーキかけたんです。どうしたんって言ったら、横にお年寄りが立っていらっしゃったんですよ。もうびっくりして、その方が渡られるのを待って、外に出て大丈夫でしたかって聞いたら、大丈夫ではあったんですけど、おばあさんにここは横断歩道じゃありませんよって言うと、だってあそこに白い線があると言われる。それは停車線だったんですけど、そこを横断歩道だと思ったそうで、みんな渡ってるよって言われるんです。そういう気持ちもわかりますけど、そのときは、事故にはならなくて大丈夫だったんですけど、もしあそこで事故が起きていたらと思うと冷や汗ものでした。

本当なら、法規どおりに回ったほうがいいんでしょうけど、結局、たくさんの方が横断歩道のないところを渡っていますので、よかったら、あそこに横断歩道をつけていただくと、歩行者にとっても、ドライバーにとっても、危険がなくていいのになと常々思っています。ぜひ、よろしくお願いします。

○（会員） 今の話に関連があるので、追加でお話しますが、その交差点ですけどね、あそこの向うの角の喫茶店側の道路に電柱と交通標識があり、歩道がとても狭くなっているため非常に通りにくいんですよ。

それで、何とかもう少し、安全に通れるようになりませんか。雨が降ったりすると、非常に危ないんですよ。

それで、私が考えるに、一つの方法としては、喫茶店の横にある土地をすこし削って歩

道にさせていただいたらいいんじゃないかと思います。それに、実際、歩行者の方がそこに踏み入ってあり、ツタが植えてあるところでも踏み荒らされて全然ツタは消えてしまっています。ああいうふうになったら喫茶店のほうも、あんまりいい気持ちしないと思っておるんですね。

あそこのところは、現場を見て何とかもう少し通りやすくしてもらいたいと思います。

- （藤田市長） 先に御要望なさいましたお話、それはもう林田区長さんのほうからも、以前からその要望は出ています。あれは県道なので県の管轄ですから、那珂県土整備事務所と警察署に市からも地元の要望として伝えています。ただ、要望のあったところは駐車場の出入り口があり、なかなかそこに横断歩道をつくるのは難しいようです。

それから、喫茶店横の件は、これはもうちょっと私有地の中の問題になるため、我々があそこに歩道をつくりなさいというわけにもいかないんですが、きょうお話として聞かせたいただきましたので、今後、土地の所有者に協力をお願いするなど、できることをしていきたいと思っております。

- （事務局） 生活に直結するような要望を出していただきました。本当にありがとうございます。

それでは、最後に、「これから音頭」、「ぼけない小唄」の合唱だそうですね。よろしくお願ひしたいと思います。

#### ～【「これから音頭」「ぼけない小唄」合唱】～

- （事務局） そろそろ、お約束の時間となったところでございます。

本日は、東新町シニアサロンのお話をお伺いすることができました。本当にありがとうございました。閉会に当たりまして、最後に藤田市長がお礼の挨拶をいたします。

- （藤田市長） 「これから音頭」の4番目の歌詞に「みんな仲良く手を取りあって」とあって、「喜寿も米寿も白寿も無事に超えてみせるの心意気」と続いているんですが、皆さん方は白寿超えられますよ（笑声） この笑いがあればですね。そんな感じがしました。

きょうは、大変お忙しい中に、こんなにたくさん集まっていただいて、ありがとうございます。箱田さんが最初に発起人としてつくられたのが、水田さんに伝わって、スタッフとそれから会員さんがどんどんふえていく、この東新町のシニアサロンですけども、すばらしい活動をしてあるなと思いました。また、いろいろと、質問あるいは御要望をいただ



いたわけですが、これが全てできるというお約束はここではできませんけど、やはり努力していきたいと、このように思いました。

そして、林田区長がおっしゃいましたけども、東新町の皆さん方の熱い思いの中で新しい公民館建設が始まっております。林田区長さんを中心に東新町の心が一つになって進められており、市としては全面的に協力を惜しまないでやりたいと思っています。

きょうは、高齢者の健康増進や引きこもりをなくすための活動を、情熱と工夫を持って取り組まれていることに感銘を受けました。また、会員の皆さん方の生き生きとしたお姿を拝見しまして、このサロンが高齢者の心地よい、また、居場所や仲間づくりに大きく貢献していることを、改めて確認をさせていただきました。

きょうの懇談の中で出された思いや願いを真摯に受けとめ、解決のための取り組みを進めていきたいと、このように思っております。

結びに、皆様方の御健勝と今後ますますの御活躍を祈念いたしまして、本日のお礼の挨拶にかえさせていただきたいと思えます。本当に、皆さん、ありがとうございました。

○（事務局） これをもちまして、平成25年度の第2回移動市長室、全て終わらせていただきます。本日はどうもありがとうございました。